



デリゲート | 応用編7日目

デリゲートとは

- **delegate**と書く
- 日本語で、「移譲する」という意味
- 他のクラスのメソッドを参照するオブジェクト
- 主にイベント処理などに用いられる

デリゲートの宣言

- 同一の戻り値の型・引数のメソッドをオブジェクト化する
- メソッドをオブジェクトとして持つことが出来る

```
delegate (戻り値の型) (名前) (引数のリスト);
```

デリゲートの仕組み

```
delegate void Operation(int a,int b);
```

①型の定義

②関連付け

```
Operation o1 = new Operation(Add);  
Operation o2 = new Operation(c.Sub);
```

```
static void Add(int a, int b)  
{  
    ...  
}
```

```
class Calc  
{  
    public void Sub(int a, int b)  
    {  
        ...  
    }  
}
```

```
o1(2, 1);  
o2(2, 1);
```

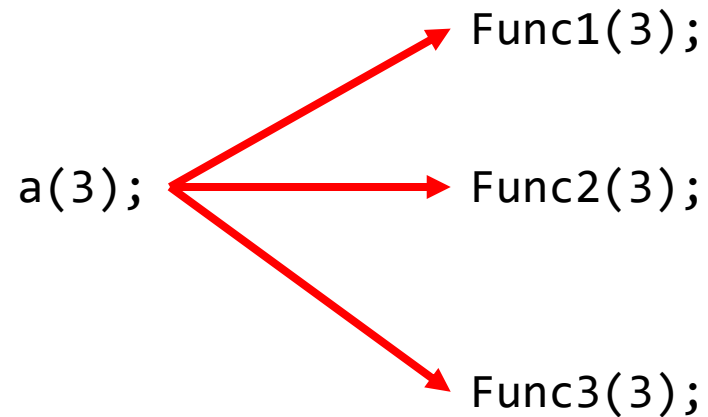
③呼び出し

複数メソッドのデリゲート

- デリゲートは同型であれば複数のメソッドを追加可能
- 実行順序は、追加された順

```
Action a = new Action(Func1);  
a += new Action(Func2);  
a += new Action(Func3);
```

① aに3つのメソッドを関連付ける



② 3つのメソッドを関連付けた順番で実行